

● 口内炎

口腔粘膜の細胞は7～14日間のサイクルで再生を繰り返しており、抗がん剤や放射線によって粘膜細胞の再生が障害されると口内炎が生じます。口内炎は抗がん剤の種類によって起きる頻度や程度が異なります。造血幹細胞移植を行う前に大量の抗がん剤治療を受ける患者さんや抗がん剤と放射線を組み合わせた治療が行われる口腔や咽喉部のがん患者さんでは、高頻度に口内炎が起こります。それ以外には、フルオロウラシルやメトトレキサートも口内炎を引き起こしやすいといわれています。口内炎がひどい場合には、痛みのために食事ができなくなり、患者さんの生活の質（quality of life）を落とすことになり、治療の継続も困難となります。

＜ 口内炎の症状 ＞

- しみる、痛みがある
- できものがある(赤み、白点、腫れ、ただれ、潰瘍、水泡)
- 出血している



＜ 口内炎の治療 ＞

- うがい薬・・・口内炎を予防したり、治りを早くする目的で使用します。
- ステロイドを含んだ塗り薬・・・炎症を抑える目的で使います。
- 痛み止め・・・口内炎の痛みを和らげる目的で使用します。

最近、胃潰瘍治療薬の亜鉛含有化合物であるポラプレジンク(プロマック®)をアルギン酸ナトリウム(アルロイドG®)に懸濁化した製剤(保険適応外)が、咽喉部のがん患者さんでの抗がん剤と放射線による口内炎の発現率を劇的に低下させることが報告されており、その効果が期待されます。

＜セルフケアのポイント＞

- 治療開始前に、歯科で口の状態の確認や、ブラッシング手技の確認、義歯のメンテナンスなどを済ませておくことをお勧めします
- 口の中をなるべく清潔に保つようにしましょう
毎食後、就寝前に歯磨きをしましょう
こまめにうがいをしましょう
義歯は義歯洗浄液につけ、よくすすいで清潔に保つようにしましょう
- くちびるの潤いを保ちましょう
リップクリームやワセリンの使用

＜症状があるときの注意点＞

- 刺激の強い食べ物は避け、柔らかいものを食べましょう。
- 無理をせずに、栄養食品を利用しカロリーを補いましょう。
- 口の中をよく観察し、乾燥を避け、清潔に保ちましょう。



◆ 次のような症状があるときはすぐに医療スタッフに連絡しましょう！

- 口の中が痛くて、食事や水分を摂ることが出来ない